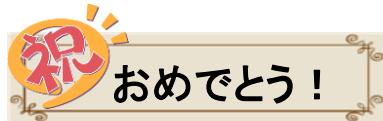


学校だより ~三力一心~



この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

先週、日向地区中学校総合体育大会の主な結果をお知らせしましたが、17日（金）に陸上競技の部が行われ、全ての競技が終了しました。出場した10名の選手は、急ごしらえの感はありましたが、ベストを尽くしてくれたと思います。

本所属の部活動と掛け持ちの生徒も多かったのですが、朝早くからコツコツと練習に励んできましたので、全員にねぎらいの言葉を送りたいと思います。

陸上部員として毎日練習してきた他校の選手と競い、今回めでたく県大会出場となった選手は以下のとおりです。

- 秋田陽向馬さん・・・共通男子走り幅跳び（2位）
- 塩月脩斗さん・・・共通男子走り高跳び（1位）
- 椎葉拓海さん・・・1年男子1500m（3位）
- 松葉祐輝さん・・・1年男子1500m（4位）
- 黒木美鈴さん・・・共通女子走り高跳び（1位）
- 児玉小夏さん・・・2年女子100m（4位）
- 林幸さん・・・共通女子走り幅跳び（4位）
- 山本梨紗さん・・・1年女子800m（3位）



なお、今回は県大会に手が届かなかった選手も、本当にあと一歩のところでした。勝負の世界ですから、着順一つ、0.1秒の差でも大きな分かれ目になるということを身をもって感じてくれたと思います。

県大会に出場する選手には、ベストコンディションで臨んでほしいのと併せて、「上には上がいる」ということを実感してほしいと思っています。なかなか他校の生徒と交流したり、競い合ったりする機会がないのですが、「井の中の蛙」のままでは自分に磨きをかけるのが難しくなります。

どんな活躍を見てくれるか、どうぞご期待ください。

登校班

毎朝、小学部児童が班でまとまって登校してくる様子は何ともほほえましいものです。班長はほとんど5、6年生ですが、中には4年生が班長として下級生を先導してくる班もあります。

感心するのは、班長や副班長の姿勢です。特に、体の小さい1、2年生の歩みに気を配りながら、責任を果たしているリーダーがたくさんいます。時には、言うことを聞かない下級生に手を焼いている班もあるようですが、根気強くお世話している姿勢には頭が下がります。

先頭を歩く班長が元気よく挨拶する班は、下級生の挨拶も元気です。横断歩道で班長がしっかりと手を挙げる班は、下級生もみんな手をまっすぐに挙げて渡ります。

限られた時間帯ですが、下級生が上級生から多くを学ぶ貴重なひとときであると思います。

時間が許せば、保護者の皆様には登校途中の我が子の姿を学期に一度くらい見ていただくとありがたいと思います。それこそ、我が子の成長を実感できる一コマではないでしょうか。



期末テスト

20日（月）から期末テストが始まりました。問題に真剣に挑む姿は、見ていて頼もしい限りです。元気よく勉強をしている小学部の教室とは対照的に、静かな中で鉛筆の音だけが聞こえる、そんな雰囲気は中学生らしさを一層引き立てます。

もちろん、保護者の皆様が気になるのはその結果でしょう。

これまで学習したことがどれだけ身についたかを確認するためのテストですので、点数を確認されましたが、我が子がやり直しまで取り組んでいるか、見届けていただくとありがとうございます。

隣の人と比べるな 昨日の自分と比べよ

自我が芽生えてくると、よけいに周りの人と自分を比べてしまいがちです。校長自身、高校でカルチャーショックを受けました。それまで中学校では、まあ優秀なほうだったのですが、高校では”鳴かず飛ばず”的な状況……。すっかり自信を失って暗い高校生活を送ることになりました。

その頃に、この言葉を知っていたら、校長の人生はもっと違っていたかもしれません(ーー)

